



ご卒業おめでとうございます

～夢へ向かって大きく羽ばたけ92人！～

若かりし頃、校長から「学校には命がある」と教えられました。それは、単に子どもたちが学校に集い、学んでいるということだけではなく、学校という大きな生命体が日々の営みの中で成長し、卒業という節目の日に、まるで哺乳類が出産するかのごとく、新しい命を中学校へ向けて送り出すことを例えた言葉でした。正に、明日3月18日は羽合小学校から新しい命が生まれ、それぞれの夢に向かって巣立ち羽ばたいていく、喜びに満ち溢れる日です。



6年生92人は、この1年間、羽合小学校の最上級生としての役割を、その姿で数多く示してくれました。例えば6年生になったばかりの4月、登校班のリーダーとなり、入学したばかりの1年生がついてきているか、時々後ろを振り返ったりゆっくり歩いたりして安全を確かめながら連れてきてくれました。5月の運動会ではコロナ禍で例年通りの日程ではできませんでしたが、限られた演目の中で全力を発揮し、見ている人たちに感動を与えた組体操。その他にも水泳大会、学習発表会などの行事で見せた、しっかりあいさつをしたり最後まで立派にやり遂げたりする堂々とした態度、委員会活動やなかよし班活動で下学年をリードした思いやりのある姿など、どれをとっても流石6年生と思わされる姿ばかりでした。本当に素晴らしいリーダーとしての活躍でした。高学年としての二年間は、コロナ禍の中での学校生活となりましたが、その都度、知恵を出し合い、仲間と協力して乗り越える姿がありました。その姿は、下の学年の素晴らしい手本となりました。

卒業生の皆さん、羽合小学校での多くの学びを糧とし、誇りとし、中学校でも自分らしく輝き活躍されることを心から願っています。

「ご卒業おめでとうございます」



6年生の保護者の皆様、ありがとうございました

6年生の保護者の皆様、お子様の小学校ご卒業、誠におめでとうございます。また、長きにわたり羽合小学校教育にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。巣立ちゆく92人の児童は、勉強に、運動に、また学校生活全般にわたり、何事にも一生懸命取り組むとともに、常に下級生の手本となる存在でした。6年間の一人一人の成長はもとより、今年1年間をみても羽合小学校を確かに進化させた大きな原動力となったことは言うまでもありません。本当に素敵な6年生でした。そんな一人一人の児童をしっかり支えていただいた保護者の皆様に、改めて感謝いたします。本当にお世話になりました。

これまで6年生を温かく見守り、支え、励ましていただいた地域の皆様、ボランティアの皆様、ルックチルドレンの皆様など、お世話になったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。